

川内港は、昭和62年4月に開港法に基づく開港指定を受けて以来、開港30周年の記念すべき年を迎え、11月には記念式典および薩摩川内ポートフェアを2日間にわたり、盛大に開催しました。

また、中国常熟市との間で、友好都市締結25周年に当たる平成28年8月に「港湾貿易及び観光促進に関する協定書」を締結し、両市間で調査団を派遣するなどの取り組みを進めてきました。11月に地元産を含む木材(スギ)1,500m³を集荷し、長年にわたり切望してきた川内港から常熟港への直行便による輸出をスタートしました。



Topic 12

グローバル展開が新段階へ！川内港開港30周年、中国常熟港への直行便による木材輸出がスタート

平成28年7月に分譲が開始された入来工業団地に、立地第1号となる(株)バイテックファーム薩摩川内の植物工場が完成し、11月から生産を開始しました。

また、6月には、中越パルプ工業(株)で、竹などの植物由来の国や産業界も着目する新素材「セルロースナノファイバー(CNF)」の商業プラントが稼働しました。今後さまざまな用途への展開を図ることで、産業振興や雇用創出など地域への波及効果が期待されます。現在、薩摩川内市竹バイオマス産業都市協議会を中心とした産学官金で、この素材の活用に向けた取り組みを進めています。



Topic 11

進む企業誘致！入来工業団地に初立地 内発型産業創出！CNF商業プラント稼働

地域の未来を支えるシティセールス人材の発掘、育成、産業振興の実現に寄与するため、市長を学長とする市民講座「薩摩国シティセールス大学」を開校し、12月1日(金)に開校式を行いました。

平成31年度までの3年間の活動の成果を市内外に情報発信するシンポジウムの開催も予定しています。



Topic 14

実現！「薩摩国シティセールス大学」開校 シティセールスと地域経済強化を市民ぐるみで

川内駅東口の市有地に建設するコンベンション施設の整備・運営を担う事業者を4月から募集。優先交渉権者である鹿児島ディベロップメントグループが設立した(株)薩摩川内MICEとの協議が整い、12月に事業契約を締結しました。

今後、基本設計および実施設計期間を経て建設工事に着手し、平成32年7月の供用開始を目指します。



Topic 13

コンベンション施設整備・運営事業に着手

8月17日(木)、市内の行政機関、民間企業、農林水産関係団体、教育機関など、官民一体となって女性の職業生活における活躍を推進するため、薩摩川内市女性活躍推進協議会が設立され、同委員による「イクボス推進宣言」も行われました。

「イクボス」とは、職場で働く部下やスタッフの仕事と家庭の調和を考え、その人のキャリアと人生を応援しながら、組織の業績も結果を出しつつ、自らが仕事と私生活を楽しむことができる上司(経営者や管理職)のことです。

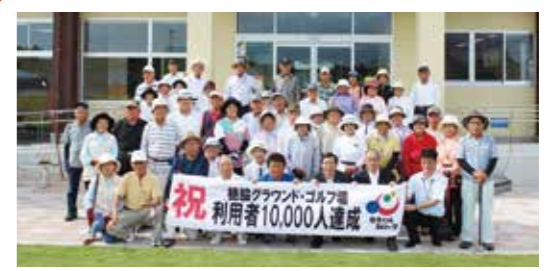


Topic 06

女性活躍推進協議会設立・イクボス推進宣言

4月にオープンした樋脇グラウンド・ゴルフ場の利用者が、8月4日(金)に早くも1万人を達成し、記念セレモニーを執り行いました。1万人目の利用者は、定期的に利用されている樋脇グラウンド・ゴルフ協会の皆さんでした。

当施設は、全面天然芝で、最大8コース・64ホールを備えており、気軽に利用できるよう、道具の貸し出しも行っています。



Topic 05

樋脇グラウンド・ゴルフ場オープン 利用者1万人達成

平成27年に新規事業化された南九州西回り自動車道「阿久根川内道路」の本格的な用地調査の実施に伴い、9月、本市と阿久根市に現地対策本部が設置されました。

これにより、物流、観光、救急医療など、さまざまな分野での効果が期待される本道路の全線開通に向け、事業の促進が図られます。



Topic 08

南九州西回り自動車道「阿久根川内道路」現地対策本部を設置

9月15日(金)、鹿島公民館で交通事故ゼロ25000日達成記念式典が行われました。これは、交通事故ゼロ件数が、鹿島村となった昭和24年4月1日から起算し、9月10日で25000日を達成したことを記念して開催されたものです。

式典には、鹿島町内外から約100人が参加し、交通安全祈願として奉納された鹿島の伝統芸能「タルナイ」や餅投げなどで大いに盛り上がりました。



Topic 07

鹿島で交通事故ゼロ25000日達成記念式典開催

4月12日(水)に里町で、こしき島「みらいの島」共同プロジェクト 電気自動車(日産 e-NV200)導入披露式を行いました。

これは、電気自動車の使用済み蓄電池を活用(リユース)した実証事業を行っている上甕島に、市と日産自動車(株)、住友商事(株)の共同で、電気自動車40台を導入し、利活用を図るものです。

また、環境省「地域と連携したCO₂排出削減促進事業」の採択を受け、地球温暖化対策のための国民運動「COOL CHOICE(賢い選択)」を踏まえた普及啓発活動にも取り組みました。

10月には、「未来の暮らしを体験できるモデルハウス」としてオープンしたスマートハウスが3周年を迎え、来館者も1万人を達成しました。



Topic 16

進む、次世代エネルギー！ 次世代エネルギーのPR活動も順調

平成18年度から進められてきた蘭牟田瀬戸架橋が、平成32年度に完成する見通しとなりました。厳しい海象条件の下、早期完成に向け着実に事業が進められています。現在、3本のトンネルのほか、第一橋梁と下部工の全てが完成し、第2橋梁から第4橋梁の上部工の建設に着手しています。完成すれば、甕島の観光振興をはじめ、水産業の振興、医療・福祉の充実、行政の効率化など、「甕はひとつ」の実現が期待されます。



Topic 15

蘭牟田瀬戸架橋 完成に向け建設着々と

救急件数の増加への対応や救命率の向上を目指し、地域のニーズに合った救急サービスを展開するために、10月5日(木)から中央消防署南部分署に新たに専任の救急隊を配備しました。

これにより、川南地区での現場到着時間の短縮と救命率の向上を目指します。



Topic 10

中央消防署南部分署へ救急隊配備

10月から、子育て世代の保健政策の一環として、インフルエンザ予防接種について、費用の一部助成を始めました。対象は、市内に居住する小学生以下の子どもと中学3年生・高校3年生となっており、協力医療機関で接種を行うと、補助金額を差し引いた料金で接種を受けることができます。

この接種により、インフルエンザ罹患時の重症化を防ぐことを目的としています。



Topic 09

子どもインフルエンザ 予防接種補助開始